

## 大井町「ふれあいクリーン活動」

大井町青少年育成町民会議による「ふれあいクリーン活動」が、10月28日に行われました。同町民会議では、子どもの健全な育成を目指し、大人と子どもが一緒になって活動しています。

この日は、町内を流れる阿木川の清掃作業に、各自治会や阿木川ダムの管理事務所などから、約40人が参加しました。

1時間ほどの作業でしたが、さまざまなゴミが集まりました。



ごみの仕分け作業を行う参加者ら

## 駅前歩道にハボタンを植栽

11月9日、花サポーター、老人クラブ、恵那農業高校生徒ら約120人が、恵那駅前周辺の歩道の花壇250カ所にハボタン6,000株を植栽しました。

この植栽事業は、6年前から年に3回、「花のまち恵那」(丸山朝夫会長)が中心となって進められており、今回の植栽には寒さを好むとされている6種類のハボタンが植えられました。

このハボタンは同校園芸デザイン科の生徒が育てたもので、来年1月ごろまでが見ごろとなります。



地域の方々と植栽をする恵那農業高校の生徒

## ホタルよ、大きく育て



ホタルの成長を確かめながら仕分けをする子どもら

10月28日と11月3日、長島小学校で長島町まちづくり委員会が、ホタルの幼虫の仕分け作業を行い、長島小児童をはじめ約30人が参加しました。

同委員会は、ホタルの飛び交う自然豊かな長島町を目指して、人工飼育に取り組んでおり、今年で2年目。7月に水槽に入れた幼虫の成長を確かめながら、サイズごとに分けて小さな幼虫の成長を助けます。幼虫は、来年の3月に永田川や千田川などに放流されます。

## 燃費を意識してecoドライブ



晴天のもとエコドライブに出発する参加者

11月4日、市内を巡りながら車の燃費を意識する「Ena ecoドライブ」が開催されました。これは、(社)恵那青年会議所の地域開発推進委員会が、生活に身近な環境意識が持てないかと実行委員会(渡会充晃委員長)を立ち上げて計画。ルールは岩村公民館を出発し、市内各所でクイズを解きながら約130キロをドライブして燃費を計算し、各車種のモード燃費に最も近い車が優勝となり、参加者は速度や燃費を意識しながらドライブを楽しみました。

## 風の森ウオーキング

10月30日、上矢作町の大船山頂付近にある弁慶杉、上矢作風力発電所、国有林内のアライダシ自然観察教育林を巡る「風の森ウオーキング」が開催されました。

このイベントは、上矢作町まちづくり委員会が同町の新たな観光名所として企画しました。参加者は、巨木や原生林、紅葉し始めた山々と先端技術の風車などを眺めて歩きながら、あらためてふるさとの光景の偉大さを感じていました。



壮大な景色と建ち並ぶ風車を眺めて歩く参加者

## 阿木川ダムを登り岩村へ

11月3日、市役所から岩村駅まで歩くメモリアルマーチが開催されました。

今回で20回目となる同イベントは、阿木川ダムを登り岩村駅までいく①コース(13km)と同じく阿木川ダムを登り岩村城を經由して岩村駅まで向かう②コース(20km)の2コースを用意。

さわやかな秋晴れの中、217人の参加があり、途中、小沢ダム周辺では紅葉も美しく、参加者らは思い思いに秋の色を楽しみながら歩いていました。



阿木川ダムの堤体を登る参加者ら

## 親子で秋の岩村城を楽しむ



山頂を目指し遊歩道を歩く参加者

「日本100名城」に選ばれた岩村城と、「美しい日本の歴史的風土100選」に選ばれた岩村城下町を舞台に10月28日、「親子名城見学会」と「岩村城跡と歴史的まちなみスタンプラリーウオーキング」が開催され、市内外から約600人が参加しました。

「親子名城見学会」には約100人の親子が参加し、傾斜のある石畳の遊歩道を、ボランティアガイドから城跡にまつわる案内を受けながら力強く歩き、壮大な石垣が残る山頂を目指しました。

## 児童らが熱演東野歌舞伎



東野小児童による「白波五人男」

東野小学校体育館で10月28日、東野歌舞伎公演が開かれ、住民ら約250人が地元の歌舞伎を楽しみました。公演では、東野小4～6年の歌舞伎クラブ児童ら9人による「白波五人男」や東野歌舞伎保存会員による「仮名手本忠臣蔵 七段目 祇園一力茶屋の場」など4幕が披露されました。歌舞伎小屋のように飾られたステージでの児童らの粋な演技や大人たちの本格的な演技に、集まった観客からは盛んに「おひねり」が飛び、歓声が上がりました。



中山道広重美術館  
企画展覧会

会期  
11/29(木) ~ 12/24(月)

開館時間 午前9時半  
~ 午後5時 入館は午後4  
時半まで)

観覧料 ▷大人 = 500円  
(団体400円) ▷小・中・高  
校生 = 300円(団体240円)

毎週月曜日(祝日を除く)  
祝日の翌日(土日・祝日  
を除く)休館。  
12/25(火) ~ 1/3(木)は年末  
年始のため休館いたしま  
す。

## 浮世絵にみる「忠臣蔵」



歌川国芳  
木曾街道六十九次之内  
大井(田中コレクション)  
嘉永5年(1852年)

歌川国芳「木曾街道六十九次之内」の「大井」は、「仮名手本忠臣蔵」の5段目を出典としています。塩冶家の浪人・斧定九郎は、落ちぶれて都のはずれ山崎街道で盗賊をしていました。そこに塩冶家小姓の早野勘平のいなすけで同家中腰元お軽の父、与市兵衛が通りかかります。与市兵衛は勘平を仇討ちの仲間に加えるために必要な献金を得るため、お軽を祇園に売る約束で調えた大金を持って家路に急いでいました。

金に困った定九郎は「お、い、お、い、おやじどの」と呼び止め、与市兵衛の命と金を奪います。しかし、その直後にイノシシと間違われ勘平に撃たれて死んでしまいます。勘平はその後、この山崎街道での出来事が原因となって、自害に至ります。

「お、い」という呼び声と「大井」を掛けた言葉遊びの面白さが本図の面白さであると同時に、「仮名手本忠臣蔵」における最大の悲劇への序章となるシーンでもあります。

## 昭和時代へタイムスリップ

11月17日、明智回想法センターで「回想法センターまつり」が開催されました。これは、回想法スクールの修了生約50人が、地域の子もたちとの交流を企画。お手製の野菜を持ち寄り、昔懐かしい「すいとん」やサツマイモの「ほうろく焼き」などを振る舞い、素朴な味を楽しみました。また昭和初期の教材や生活物品展示のほか、わら細工、ゴム飛び、お手玉、柿取りなどが体験でき、会場は昭和時代にタイムスリップしたような雰囲気となりました。



約200人分のすいとんとほうろく焼きを作る修了生

## 串原の素材をお手軽料理



手際よく調理をする最優秀賞に輝いた大島瞳さん

11月11日、串原体験道場チャレンジハウス創手味亭で、第2回料理コンクール「くしはらいっばい」の最終審査が開催され、一次審査を通過した6組が参加しました。このコンクールは、串原の特産品を生かした料理をテーマにレシピを募集し、25の応募がありました。審査は、安藤敏子実行委員長をはじめ、一般ギャラリーを含めた20人が試食して行い、厳正なる審査の結果、最優秀賞には大島瞳さん(串原)の「うめとろ冷やっこ」に輝きました。

## 1月6日は消防出初式

新春恒例の市消防出初式が1月6日(日)に開催されます。すっかりおなじみとなった恵那トビはしご登りや分列行進、一斉放水などが行われます。皆さんお誘い合わせの上、ぜひ、ご覧ください。

日程 式典 = 午前8時00分 ~ 恵那文化センター  
分列行進 = 午前10時30分 ~ 恵那駅前中央通り  
恵那トビはしご登り = 午前10時45分 ~ 駅前中央通り  
一斉放水 = 午前11時15分 ~ 大井橋 佐渡橋間

交通規制 午前10時 ~ 午前11時45分まで中



昨年のトビはしご登り

央通りを中心に交通規制を行いますので、ご協力をお願いします。また、この時間帯は東濃鉄道のバスは石橋線経由で運行します。なお、岐阜銀行前の公布町バス停は小栗屋付近に仮設バス停を設置します。

その他 天候不良の場合は、式典終了後、恵那文化センターで恵那トビはしご登りを行います。分列行進・一斉放水は中止となる場合があります。

問い合わせ 消防課消防団係 ☎26-0119(内線615)



一昨年の一斉放水

## 県内7団体が獅子芝居を披露

昔ながらの芝居小屋の雰囲気が残る三郷町・宮盛座で11月18日、第7回岐阜県獅子芝居公演が開催されました。この公演は、県内で古くから伝承されている獅子舞・芝居などが一堂に会し、その魅力をアピールし、振興や保存、後継者の育成を目的に平成13年から毎年開催されています。この日は7団体が出演。市内からは、三郷町、岩村町、山岡町、上矢作町の保存会・同好会が、約200人の観衆の前で迫力のある、そして繊細な演技を披露しました。



岩村町獅子舞保存会の「葛の葉姫の子別れ」

## 笠置のユズで「ゆず釜」作り



実をくり抜いたユズに味噌や砂糖などを入れて蒸す

11月14日、アグリパーク恵那で第6回恵那の味・伝承講座が開催されました。今回は、笠置町で収穫されているユズを使った郷土料理「ゆず釜(ゆべし)」と、里イモとご飯を一緒に炊き上げて作る「いもごね餅」を学習。講師には、笠置町の「ふれあいハーモニ」から石原八重子さんと安田若枝さんを迎え、ユズの実や綿の取り方など習いました。ユズの皮を傷つけないように考案された竹の道具を使うなど、参加者は先人の知恵に感心しながら作りました。